

災害時要援護者のための「福祉避難所」の確保について



白戸優子 議員

質問 災害時要援護者のための「福祉避難所」の確保について、誰もが災害時要援護者になる可能性を考えた今後の体制準備について伺う。

保健福祉部長 土浦市地域防災計画では、一時避難所として各小中学校及び高等学校が指定され、広域避難所としては都市公園が指定されているが、高齢者等で安心・安全な避難生活を送ることが極めて困難となる場合があり、土浦市民間社会福祉施設協議会と防災担当部門及び福祉部門が福祉避難所に係る協定を結ぶための協議を実施している。

同協議会は、市内の社会福祉施設の施設長や職員で構成される団体で、福祉避難所としての施設の提供や緊急的に設置した福祉避難所での人的支援等の内容で、協議を進めており、早期の協定書締結を目指している。

（掲載以外の質問事項）

- ・大規模災害発生時の避難者に対する支援体制について
- ・児童虐待の土浦市における実態について
- ・引きこもり問題のふれあいネットワーク機能について
- ・児童の防犯ブザーについて

行政改革の成果と今後の考え方について（非常勤職員の処遇）



竹内 裕 議員

質問 非常勤職員もしくは嘱託職員に対してどのような考え方で、どのような処遇を考えているのか伺う。

市長 正規の職員以外の職員の任用については、地方公務員法の規定に基づき行っている。非常勤職員と嘱託職員は身分保障が異なるため、任用根拠に沿った適正な任用を図る必要がある。

非正規職員の待遇改善については、社会経済情勢の変化や他市の状況等も参考として賃金単価の見直しを行ったが、見直し後3年となること

から、周辺市の状況等を調査して、正規職員との均衡を図りつつ適正な賃金の見直しを考えている。

非正規職員がより力を発揮できる職場環境を確立して、効率的で血の通った行政運営を推進していきたい。

（掲載以外の質問事項）

- ・教育行政を進めるうえで、各種課題に対する現状と対策について

観光行政と市民の関わりから霞ヶ浦と乙戸沼の水面は生かされているのか



柳澤 明 議員

質問 観光行政と市民の関わりについて、観光施設として霞ヶ浦と乙戸沼の水面は生かされているのか伺う。

産業部長 霞ヶ浦の活用は、水辺空間を活かしたスポーツ・レクリエーションや霞ヶ浦の雄大な景観や水辺を気軽に楽しめる体験の場として、観光遊覧船の運行やマリナーを拠点としたイベントが実施されるなど、様々な活用がされて

いる。マリナー施設については、整備中の（仮称）見晴台やクローバー広場の整備とあわせ、霞ヶ浦に面した一体的なスポーツ・レクリエーションの場となるよう取り組んでいきたい。

都市整備部長 乙戸沼は、本市の南部の総合公園として水辺を活かした親水性のある公園で、スイレンを除去した成果として、数多くの白鳥が飛来し、多くの市民の方に来ていただけるようになった。公園の適切な維持管理に努め、白鳥の景勝地となるための方策を講じていきたい。

（掲載以外の質問事項）

- ・観光行政と市民の関わりについて



手話通訳者について

耳の不自由な方が本会議の傍聴を希望される場合には、手話通訳者の派遣をいたします。

ご利用の際には、少なくとも一週間前までに議会事務局へお申し込みください。



議会を傍聴してみませんか

詳しくは、議会事務局へ

インターネットの場合は、「土浦市議会事務局」と入力して検索してください。「土浦市議会ホームページ」→「傍聴」で詳しくお知らせしています。



電話 029 (826) 1111 内線 2277
FAX 029 (826) 3379